

| | | | |
|-------|----------------------|------|-----------|
| 3類型 | 観光資源 | 通巻番号 | 10-25-005 |
| 地域資源名 | エイサー、ハーリー、沖縄の民俗芸能・祭祀 | 認定日 | 平成25年 |
| 地域 | 沖縄県那覇市 | 所管省庁 | 経済産業省 |

事業名：沖縄の伝統文化を活用した沖縄初「飛び出す絵本」の製作・販売事業

会社名：有限会社ジグゼコミュニケーションズ

所在地：沖縄県那覇市真嘉比86

連絡先：TEL：098-884-4651

HP：<http://www.gxe-c.com/>

事業概要(新たな活用の視点)

エイサー、ハーリー、那覇大綱引き等、沖縄の伝統文化を活用した「飛び出す絵本」を製作・販売することで、県内外の子供たちに沖縄固有の文化への理解を深めていく商材である。

特に、飛び出す絵本という商材にすることで、自家需要ばかりではなく、プレゼント等の需要等も期待されることから、沖縄を訴求する新たな商材として定着させたい。



[沖縄のエイサー大会の様子]

売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

◆競争力

- ・沖縄県内で飛び出す絵本は製作されておらず、初の試みである。
- ・沖縄の伝統文化を表現する子供向け文芸書・教材等は稀である。
- ・文章を2か国語(日本語・英語)で表記し、外国人向けにも展開する。

◆市場性

- ・書店規模にもよるが書店の10%程度が児童書や絵本だと言われている。
- ・幼児・保育園児・小学校低学年の保護者や教育関係者の需要を基本需要と想定している。

◆販路

・県外販路

書生販売店14,200店、学校図書館6,400カ所、小学校21,000校、保育所・幼稚園35,000カ所、その他、全国の博物館等を想定

- ・地方小出版流通センターを通じ全国に展開



[沖縄のハーリー大会の様子]



[那覇大綱挽きの様子]

地域資源における関係事業者との連携

- ① 県内絵本作家やイラストレーターとの協業
- ② 県内印刷業及び関連事業者との連携